

2024年3月期
第2四半期決算説明会

アステリア株式会社
(東証プライム:3853)

2023年11月10日



2024年3月期 第2四半期決算概要

ソフトウェア セグメント

◆上半期として初の売上20億円突破

- 売上収益**17%増**、売上総利益**19%増**
- Warp サブスクリプション **42%増収**
- Platio **57%増収**
- デザイン事業 **76%増収**

サブスク製品
好調

投資 セグメント

◆Gorilla社 株価大幅下落→

大幅減益

(2023.10.3 開示済み)

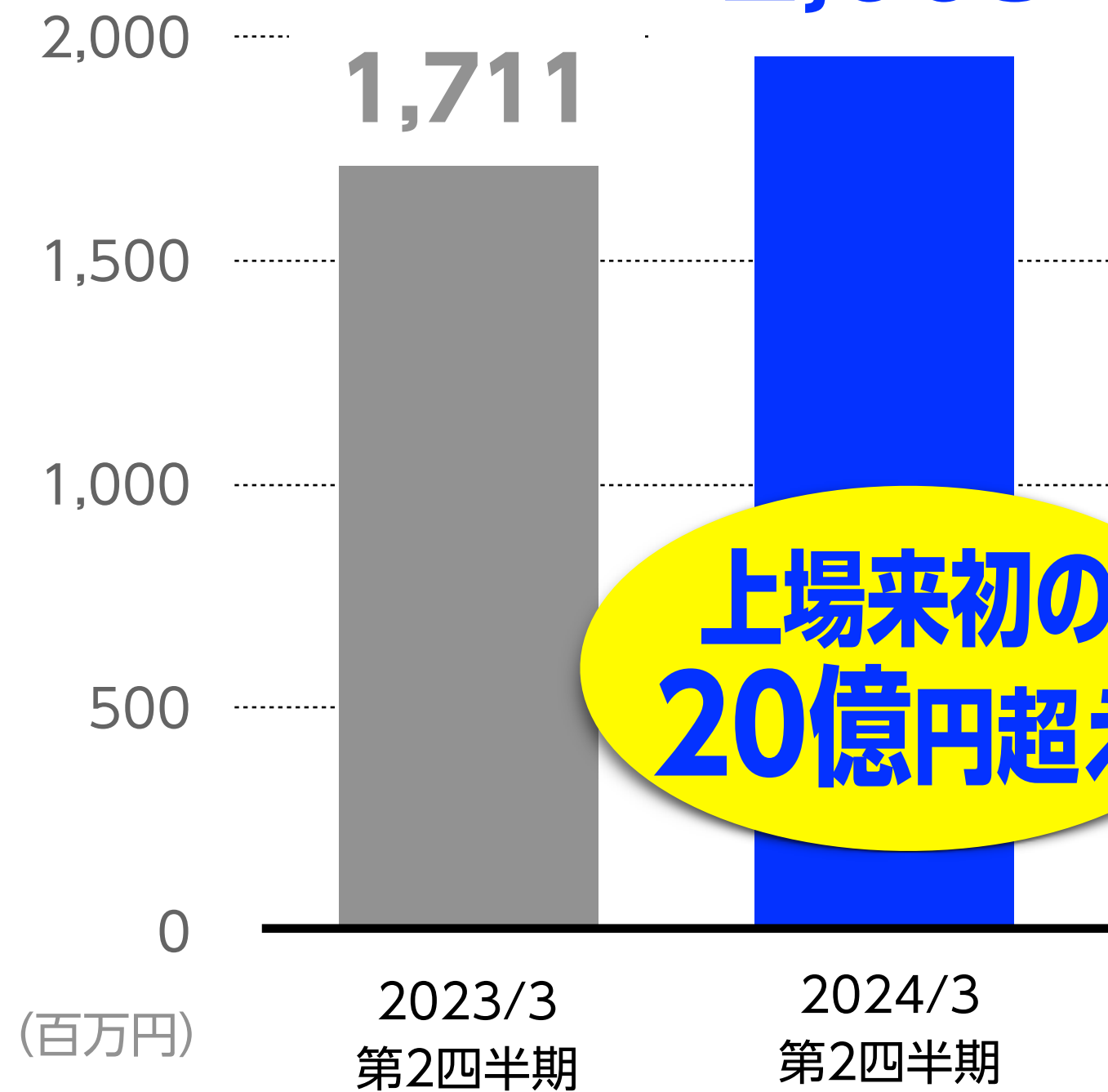
売上収益と売上総利益 (前年同期比)

売上収益

17%増

2,003

上場来初の
20億円超え



✓ 投資事業には売上収益が無い
ため、売上収益は、ソフトウェア事業とデザイン事業で構成される。

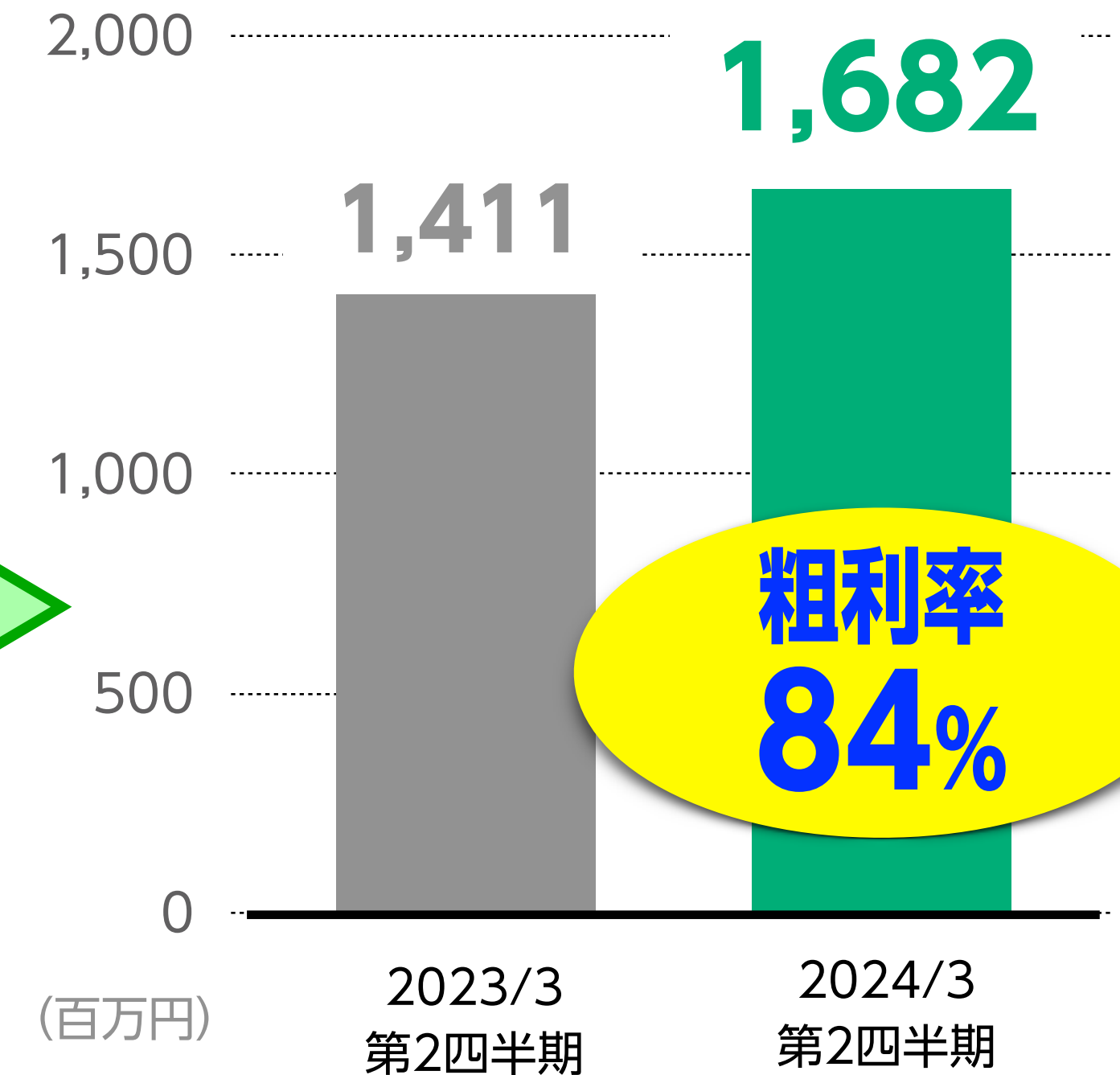
✓ ソフトウェア事業とデザイン事業いずれも物品の仕入れが無い
ため、売上総利益率が極めて高い。

売上総利益 (粗利)

19%増

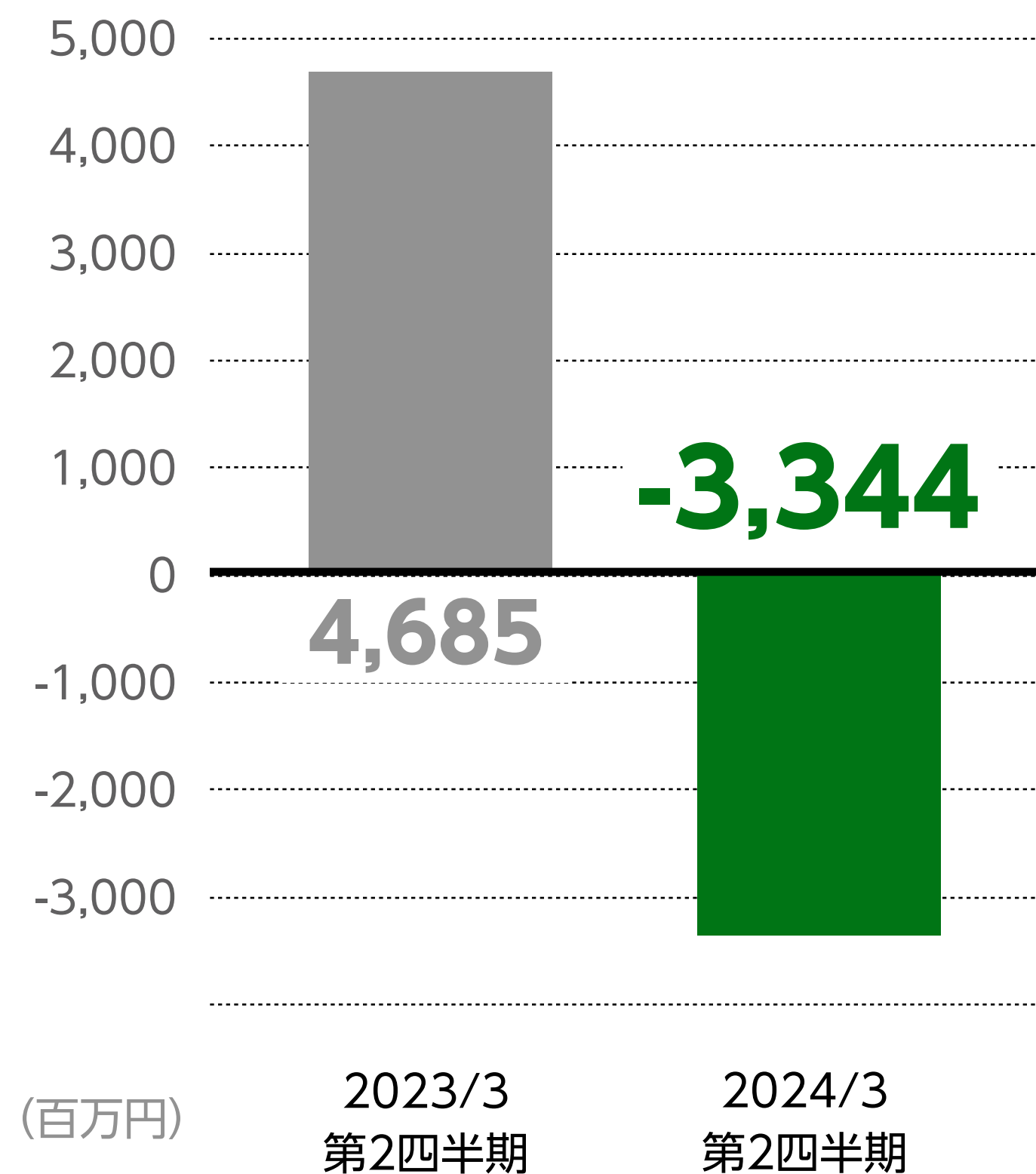
1,682

粗利率
84%



営業利益と四半期利益 (前年同期比)

営業利益

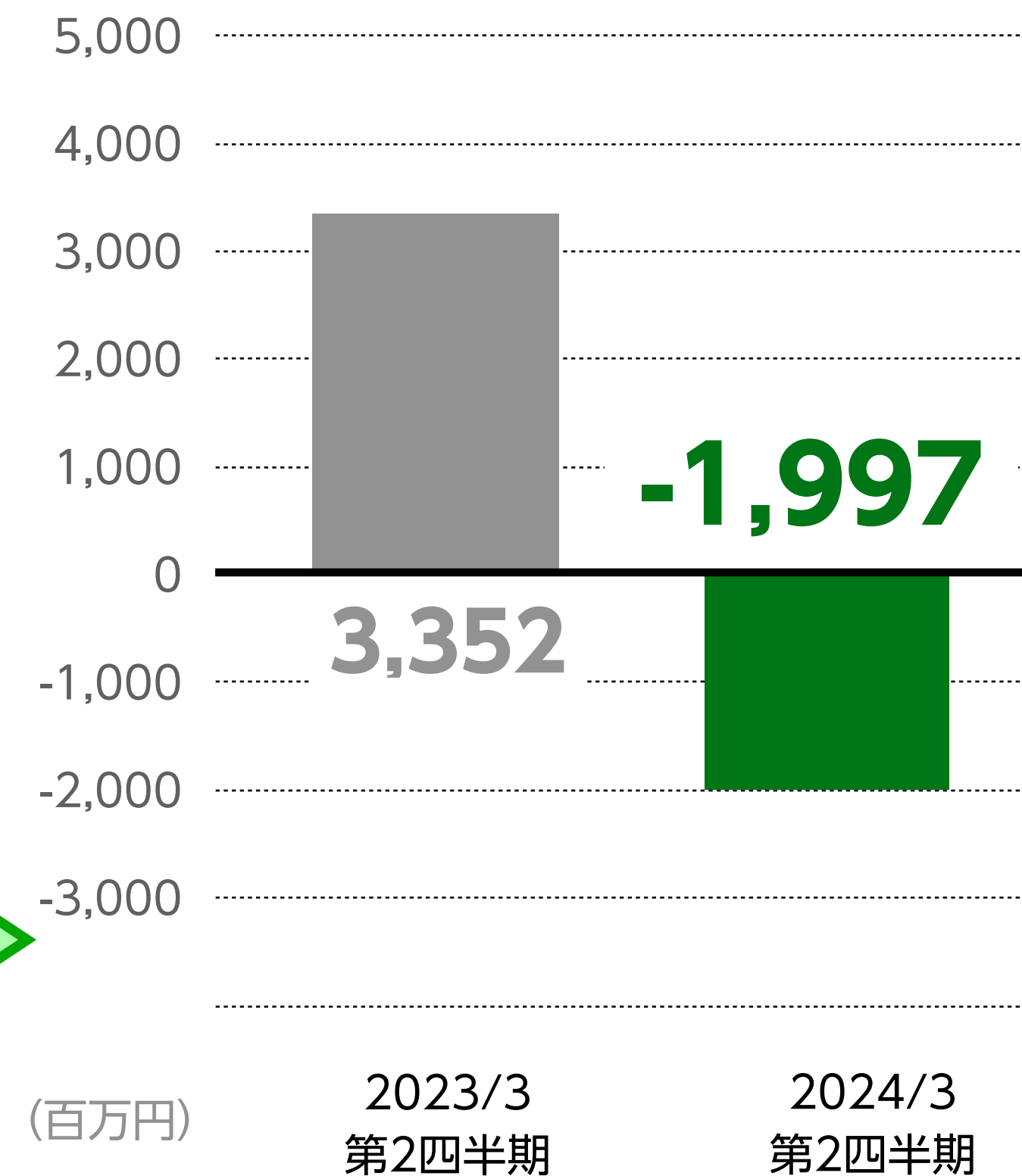


✓ 前期はGorilla社※1のNASDAQ上場により大きな営業利益を計上したが、今期は同社の株価下落を主因に約**38億円**の**未実現評価損失**を計上。 ※2
(2023.10.3 開示済み)

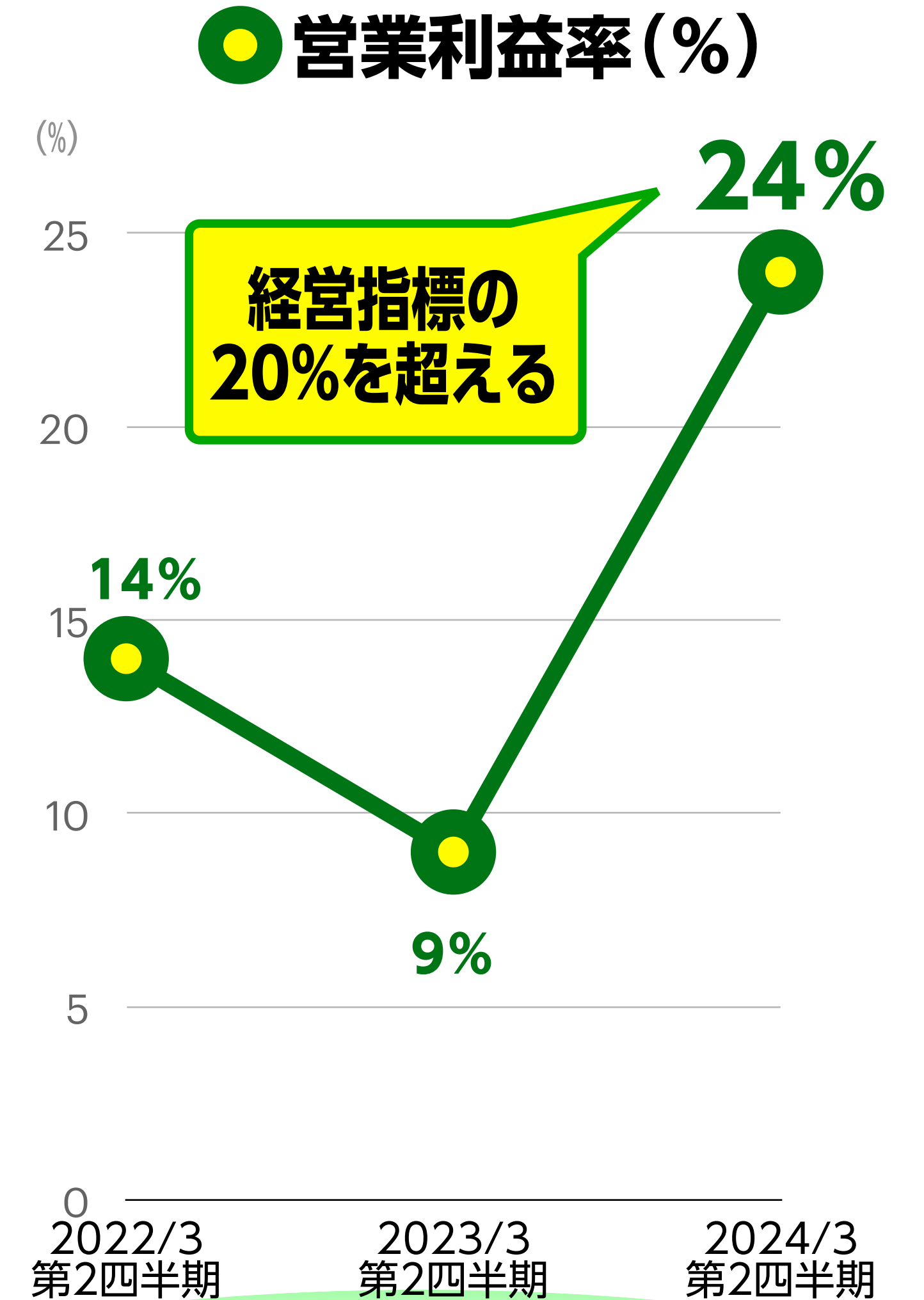
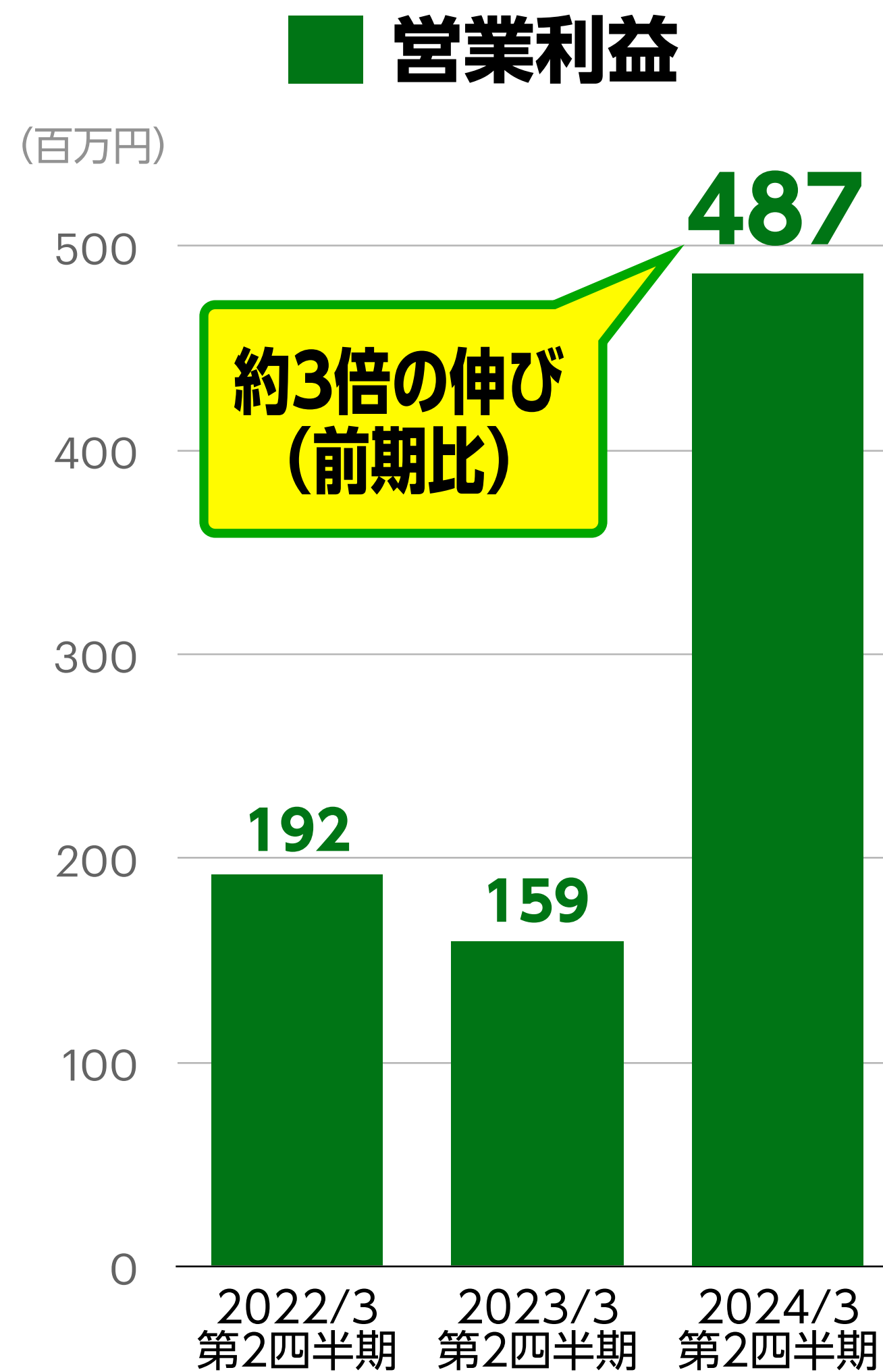
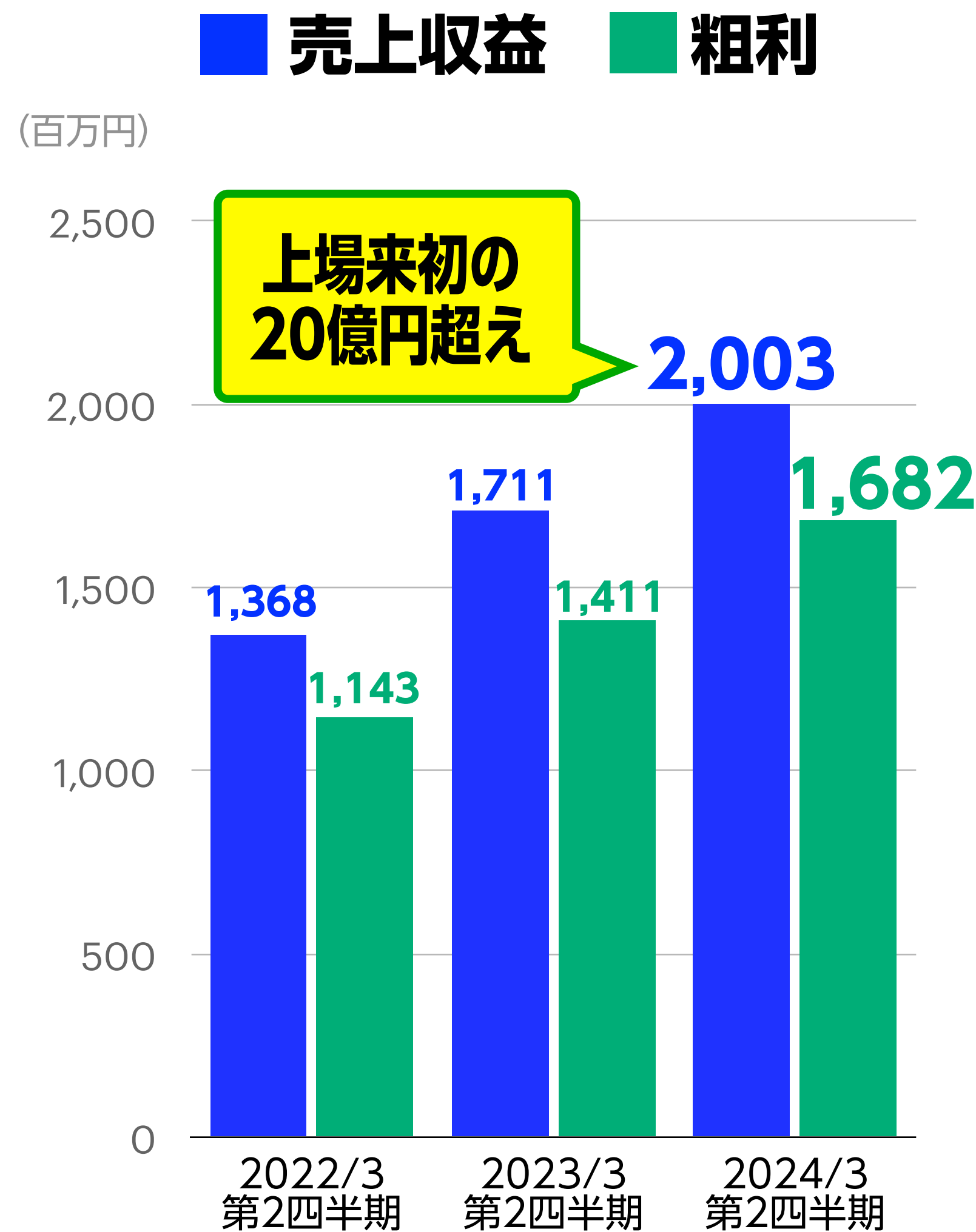
✓ 円安による**3億円強の金融為替差益**を含む。

※1 Gorilla Technology Group社
 ※2 子会社AVF(米国)をIFRSのFVTPLで連結

親会社の株主に帰属する 四半期利益

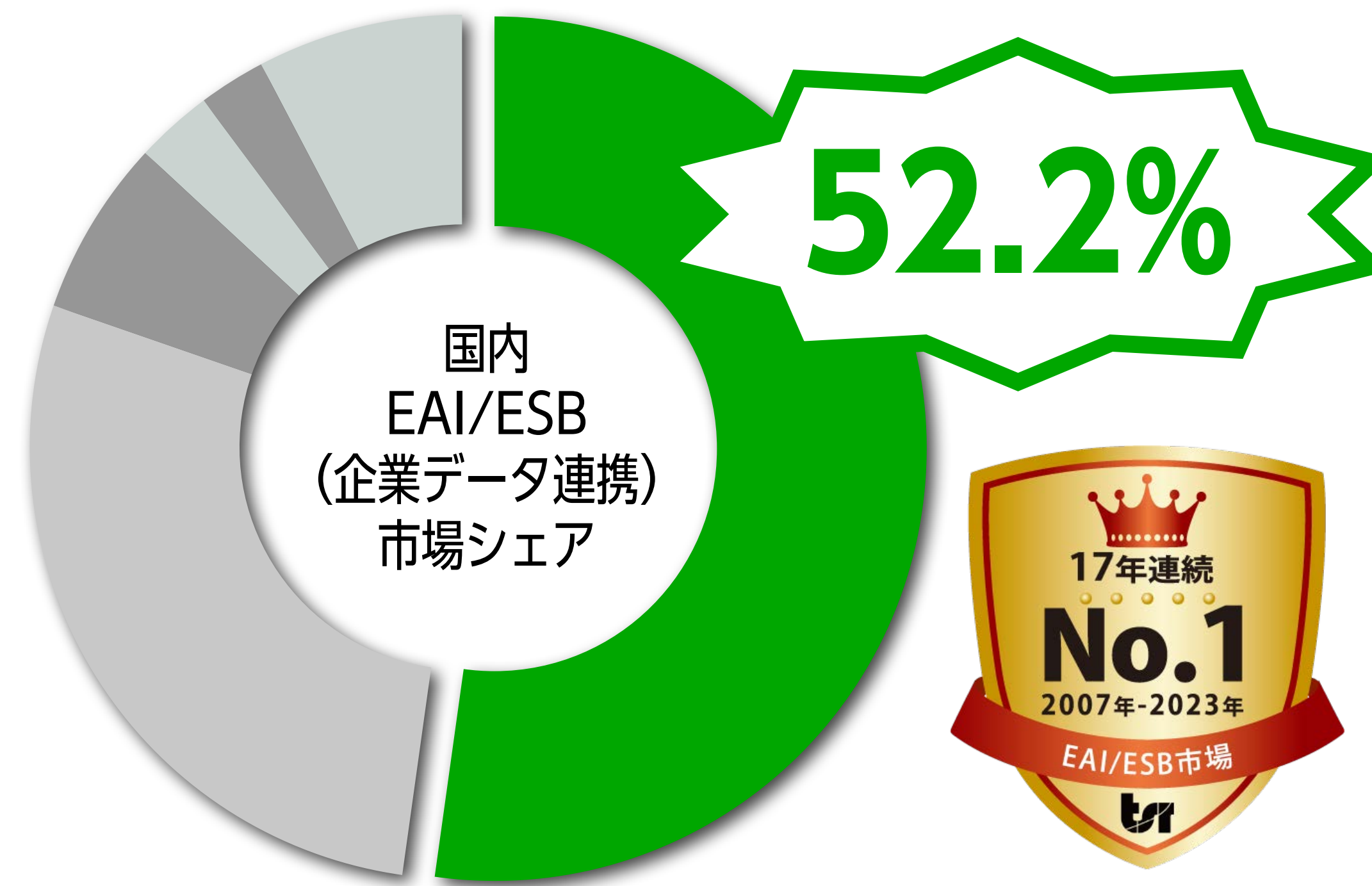


ソフトウェアセグメントの収益推移 (前年同期比)



- ◆ 最も伸びたのはサブスク
売上で**42%増** (前年同期比)
- ◆ 累計導入社数**10,000社突破**
- ◆ 市場シェア**17年連続No.1**で
初の**50%越え**
- ◆ 製品の課金先件数は、すでに
約93%がサブスク (第2四半期)

圧倒的なシェアで国内 データ連携市場を牽引

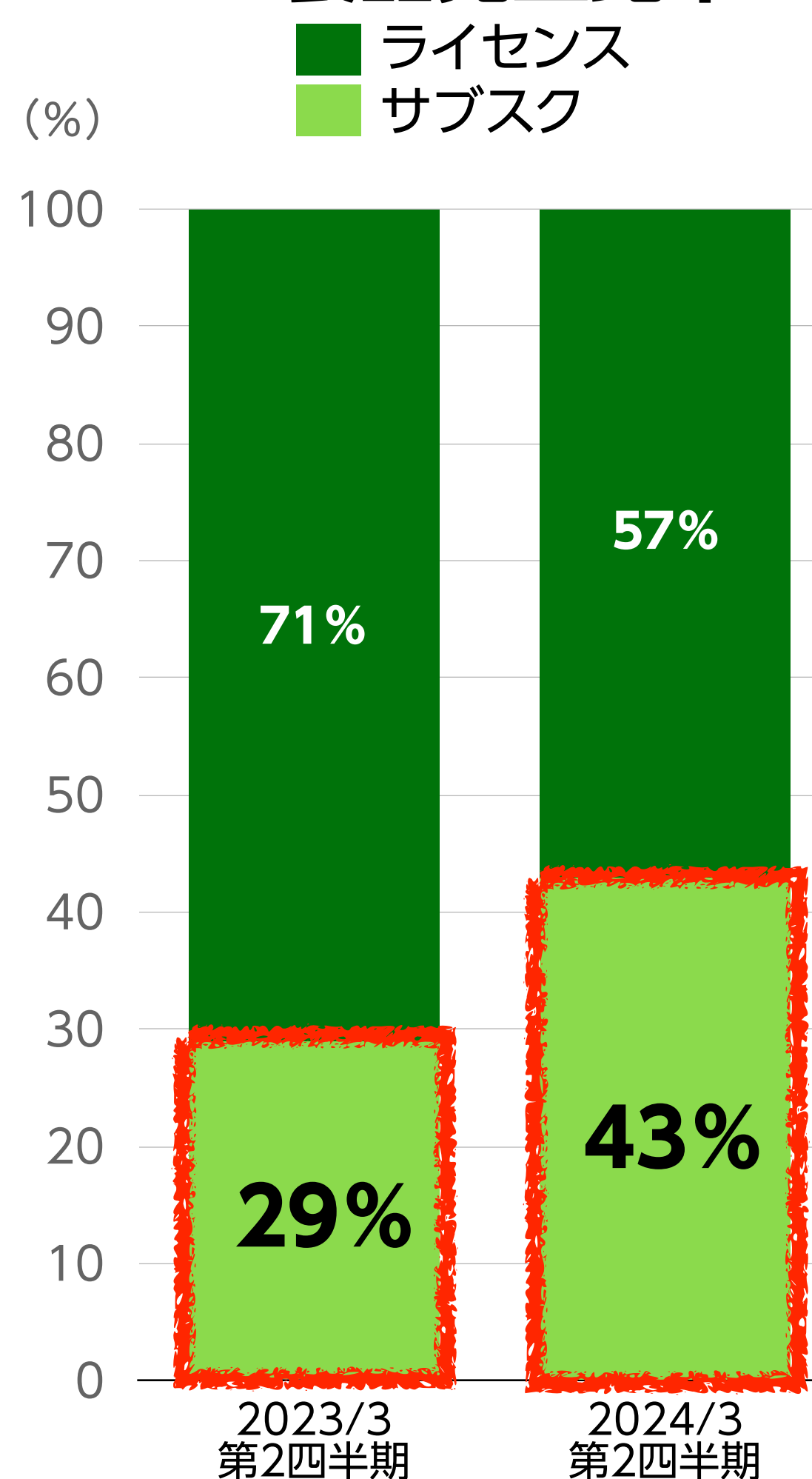


出典：テクノ・システム・リサーチ
「2023年 ソフトウェアマーケティング総覧 EAI/ESB市場編」

◆サブスク購入が定着

- ✓ 中小企業 (SMB市場) での **データ連携ニーズが加速**
- ✓ ライセンスと比較して **安価・低コスト** で利用開始が可能 (Core:月額3万円~)
- ✓ 短期的に売上減だが **継続的には確実な売上の積上げ** に

製品売上比率



Warpのサブスク製品 “Warp Core” MRR推移



※MRR = Monthly Recurring Revenue (月次継続売上)

※ARR = Annual Recurring Revenue (年次継続売上)

◆ 大幅なMRRの伸びが継続

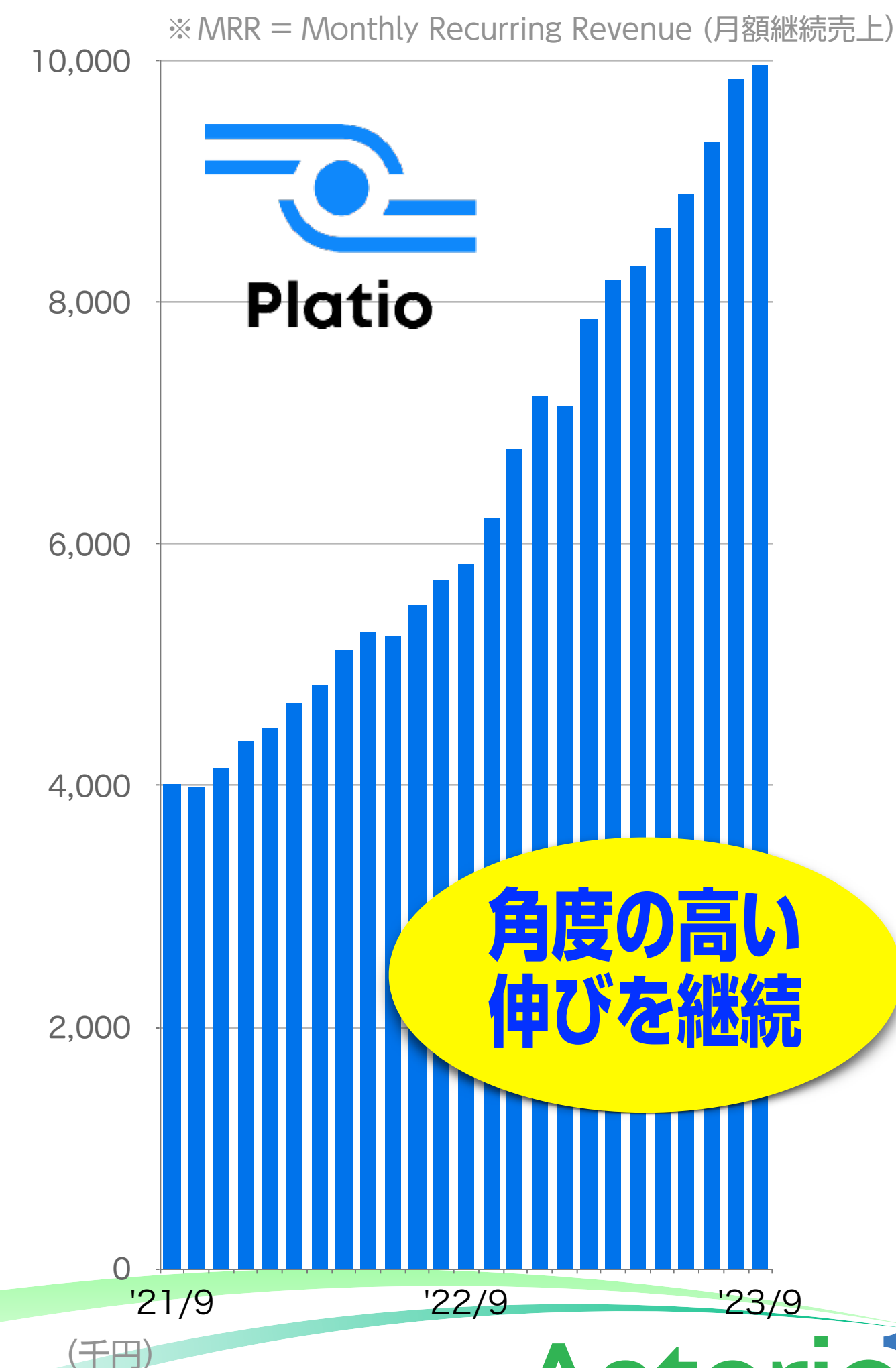
- ✓ 幅広い業界で**人手不足対策**や業務効率化に向けたDX(アプリ化)ニーズが拡大し**57%の増収**
- ✓ 物流/建設業界の**2024年問題**や、景気回復による小売・サービス業、観光業の引き合いが拡大
- ✓ 新しい事例も続々公表

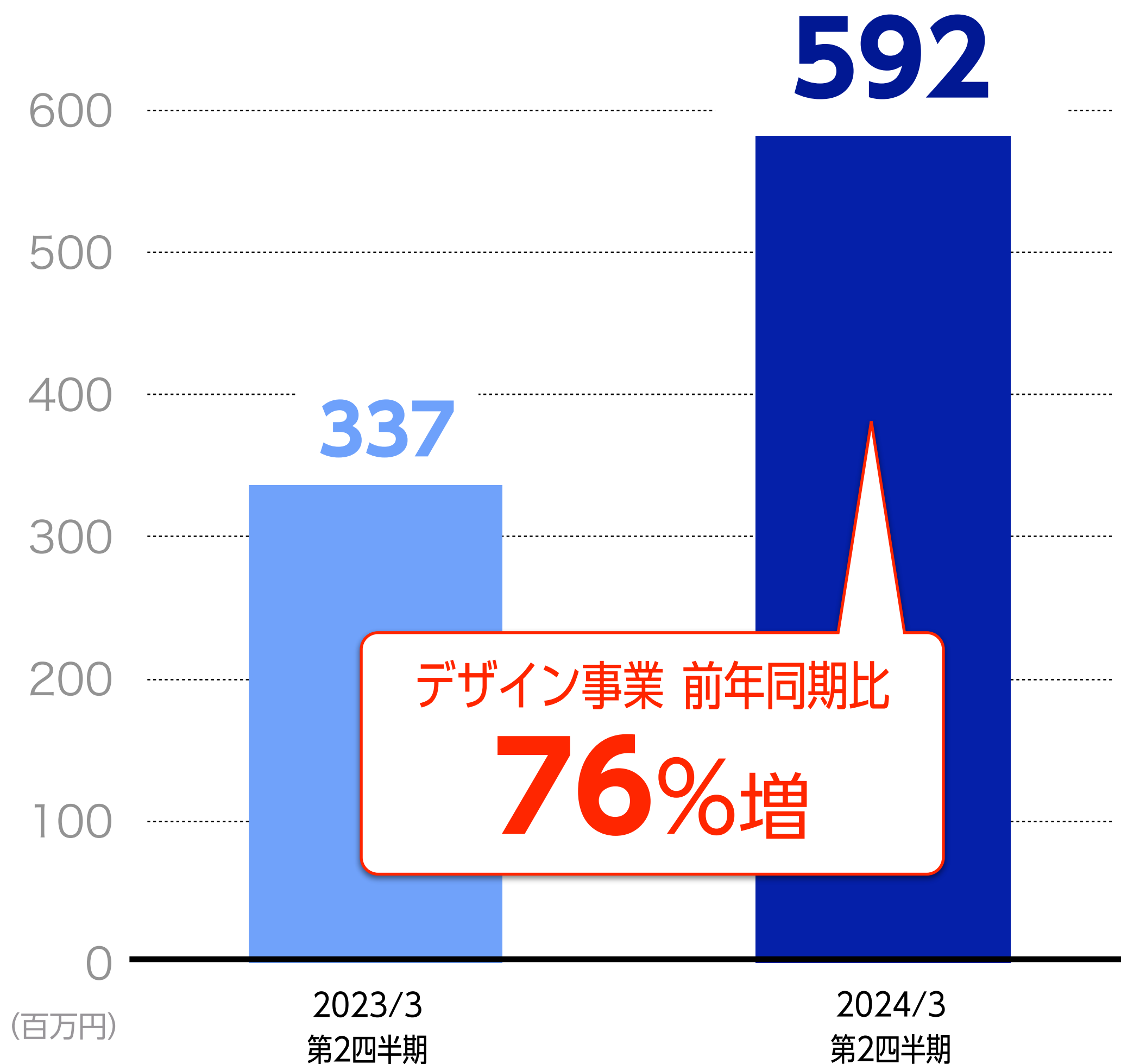


株式会社 リロパッケージングズ



MRR※の推移 (直近24ヶ月)

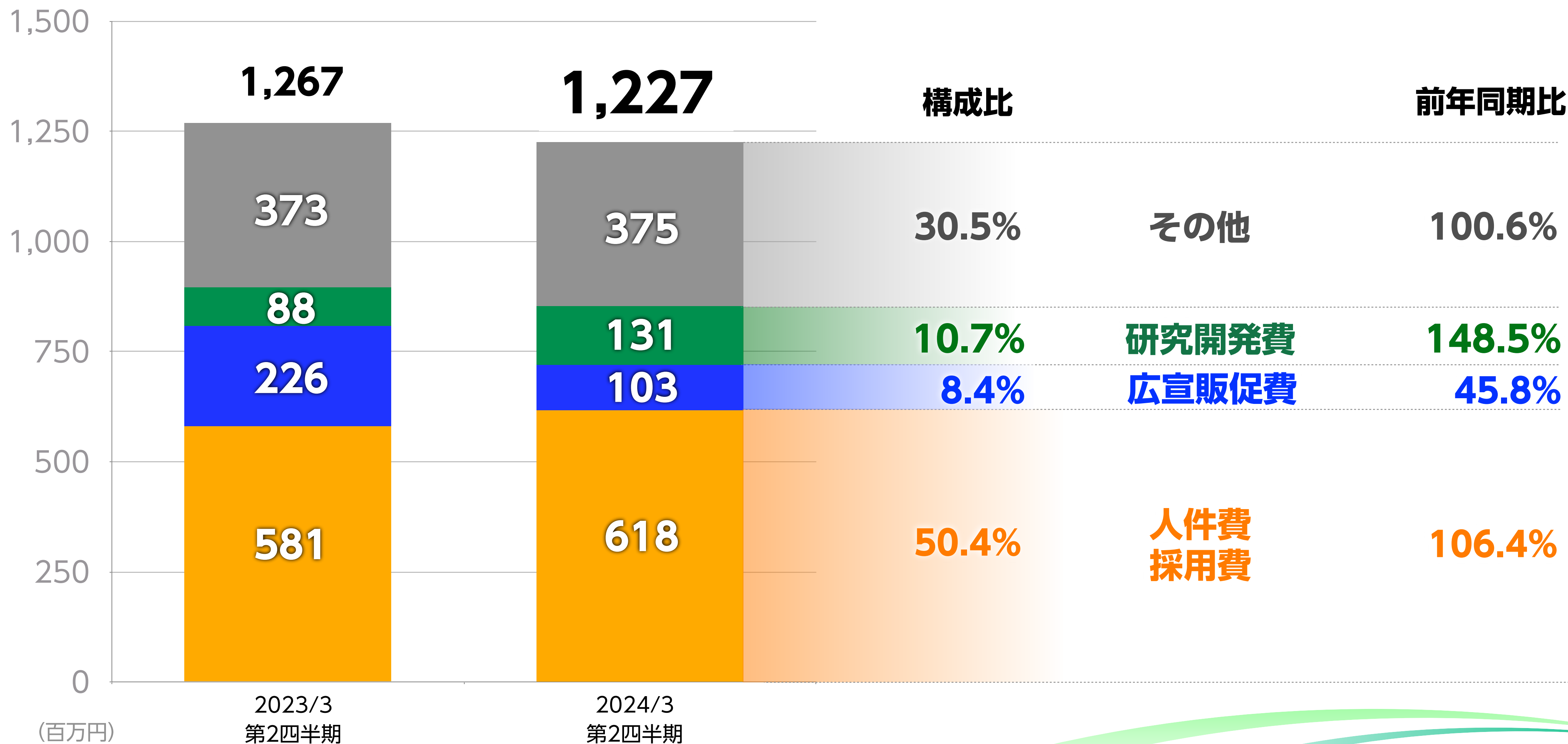




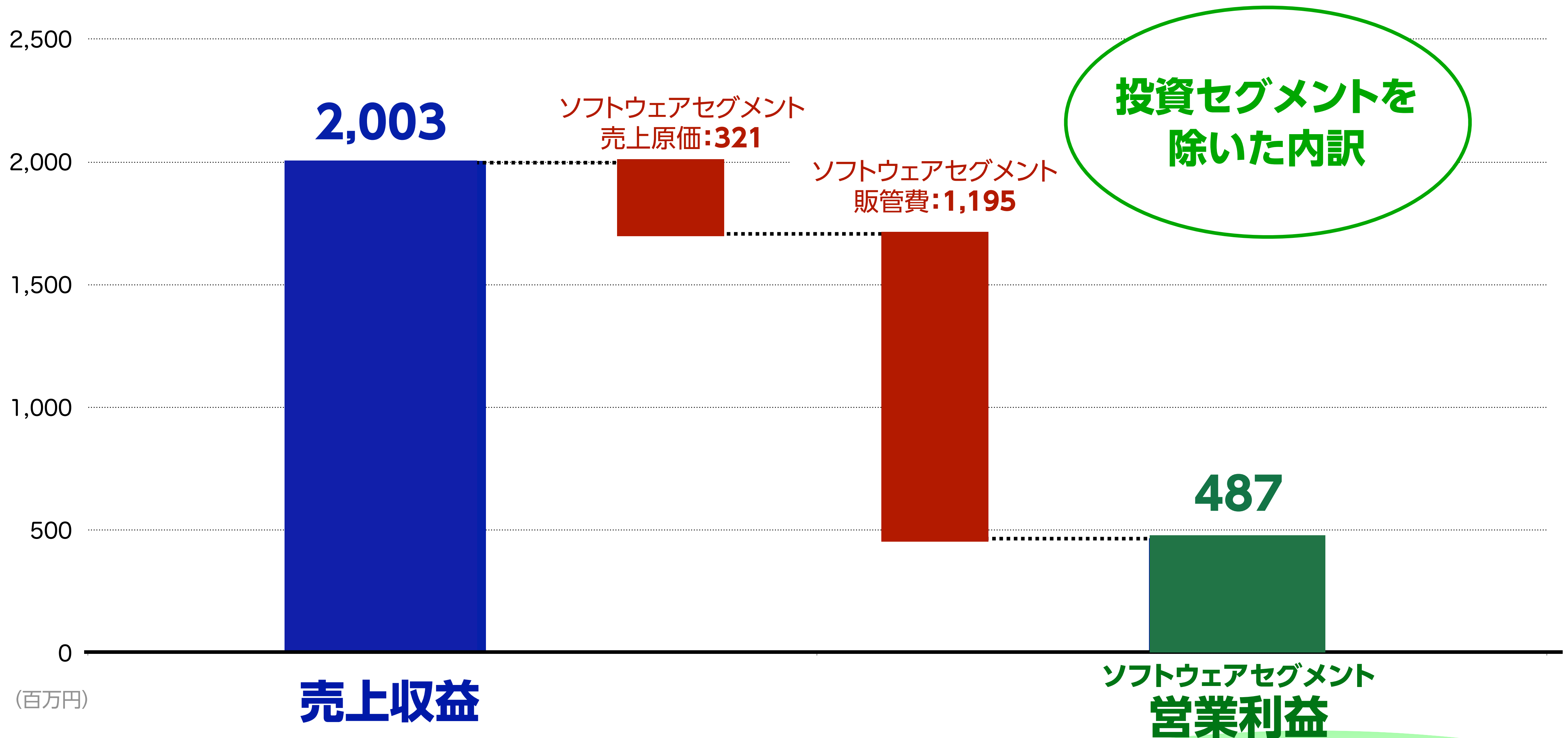
- ◆ 英国・米国
 - ✓ 米国大手IT企業や、国際組織などにおける受注拡大
- ◆ 日本 (2023年11月スタート)
 - ✓ 外資系航空会社から新規受注

販売管理費：推移と内訳

✓ 特別予算による「広宣販促費」「採用費」等への先行投資が終了し、トータルで微減。

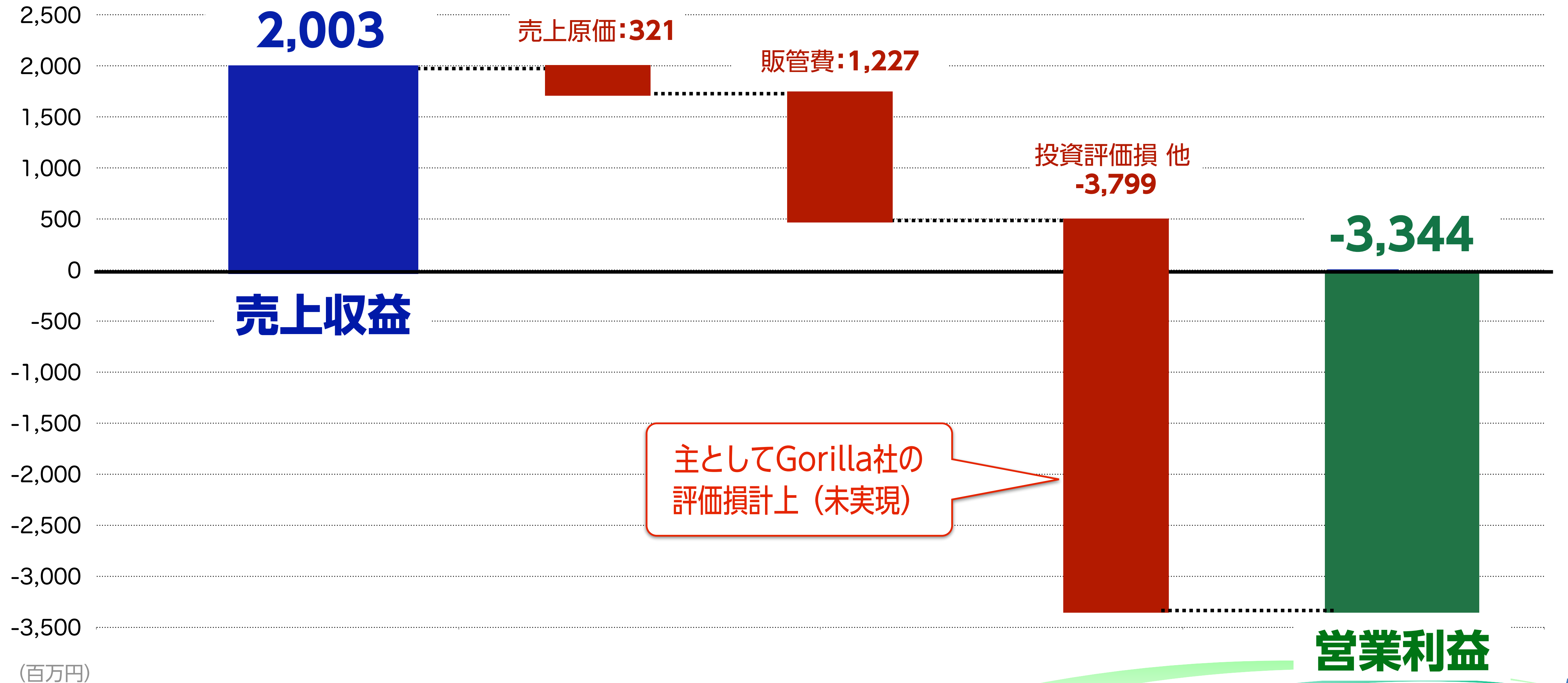


ソフトウェアセグメント：売上収益から営業利益の内訳



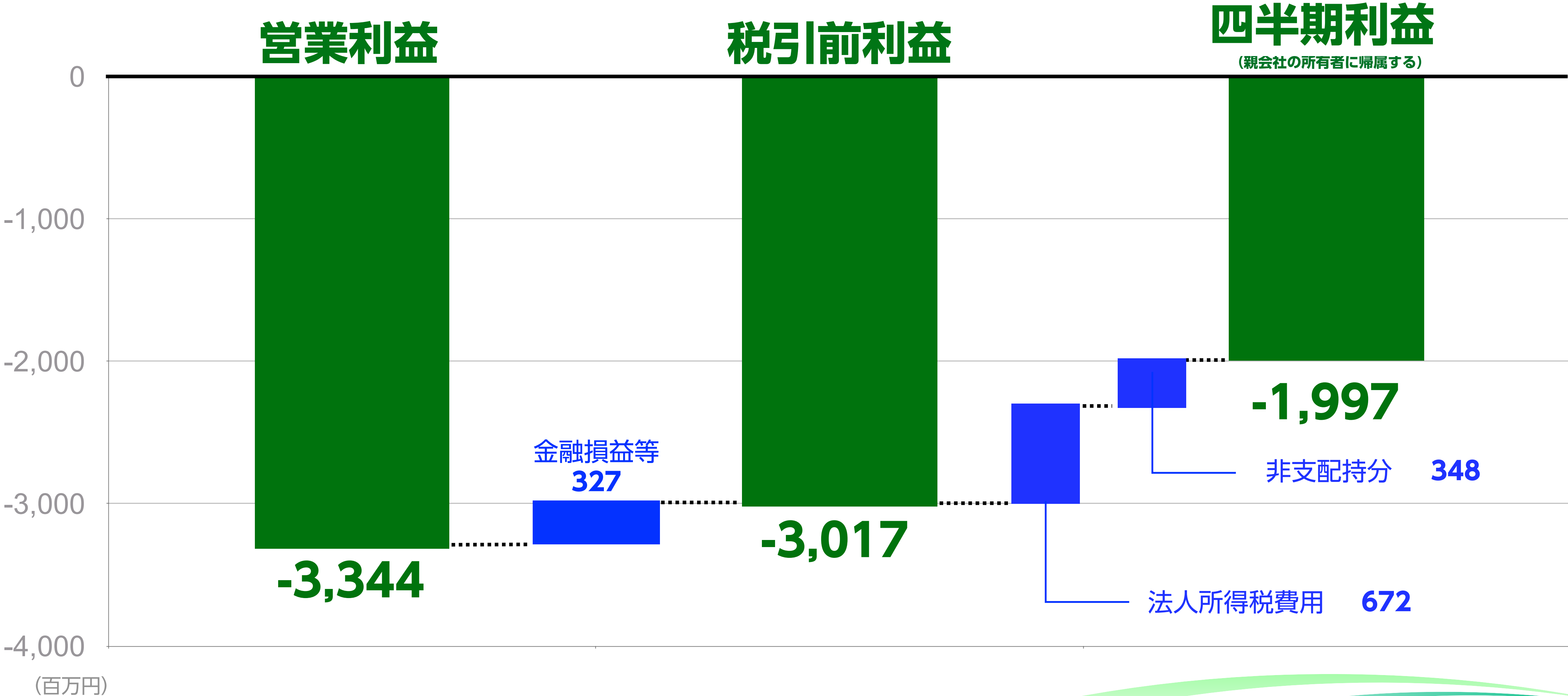
売上収益から営業利益までの内訳

✓ 子会社AVF (米国) での投資評価損 (未実現) の発生により営業利益が大幅に減少。 ※IFRSのFVTPLに基づく



営業利益/税引前利益/四半期利益 (親会社の所有者に帰属する)

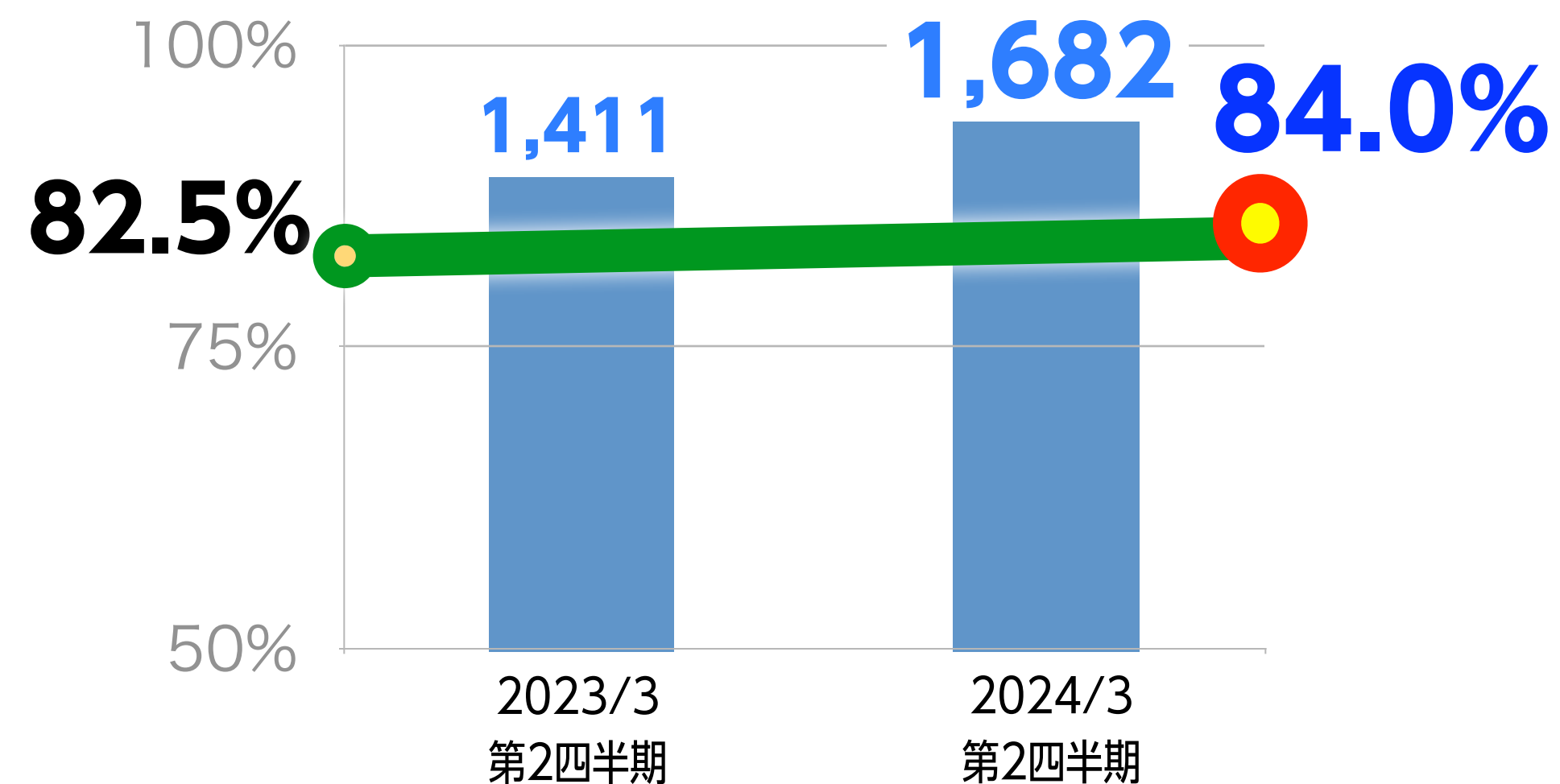
✓ 金融損益には為替差益を含む



経営指標の推移 (前年同期比)

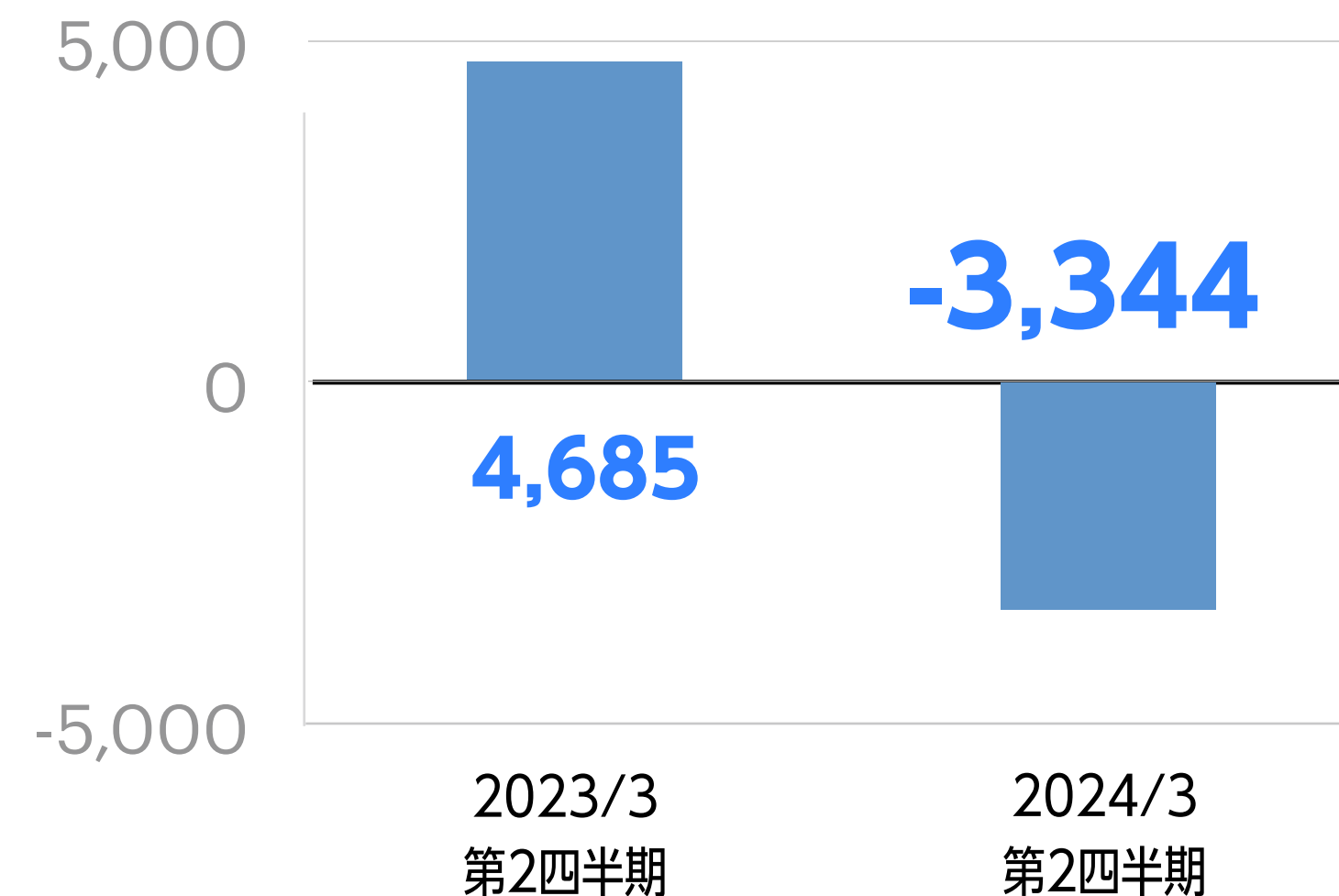
※絶対値の単位は百万円

売上総利益/率

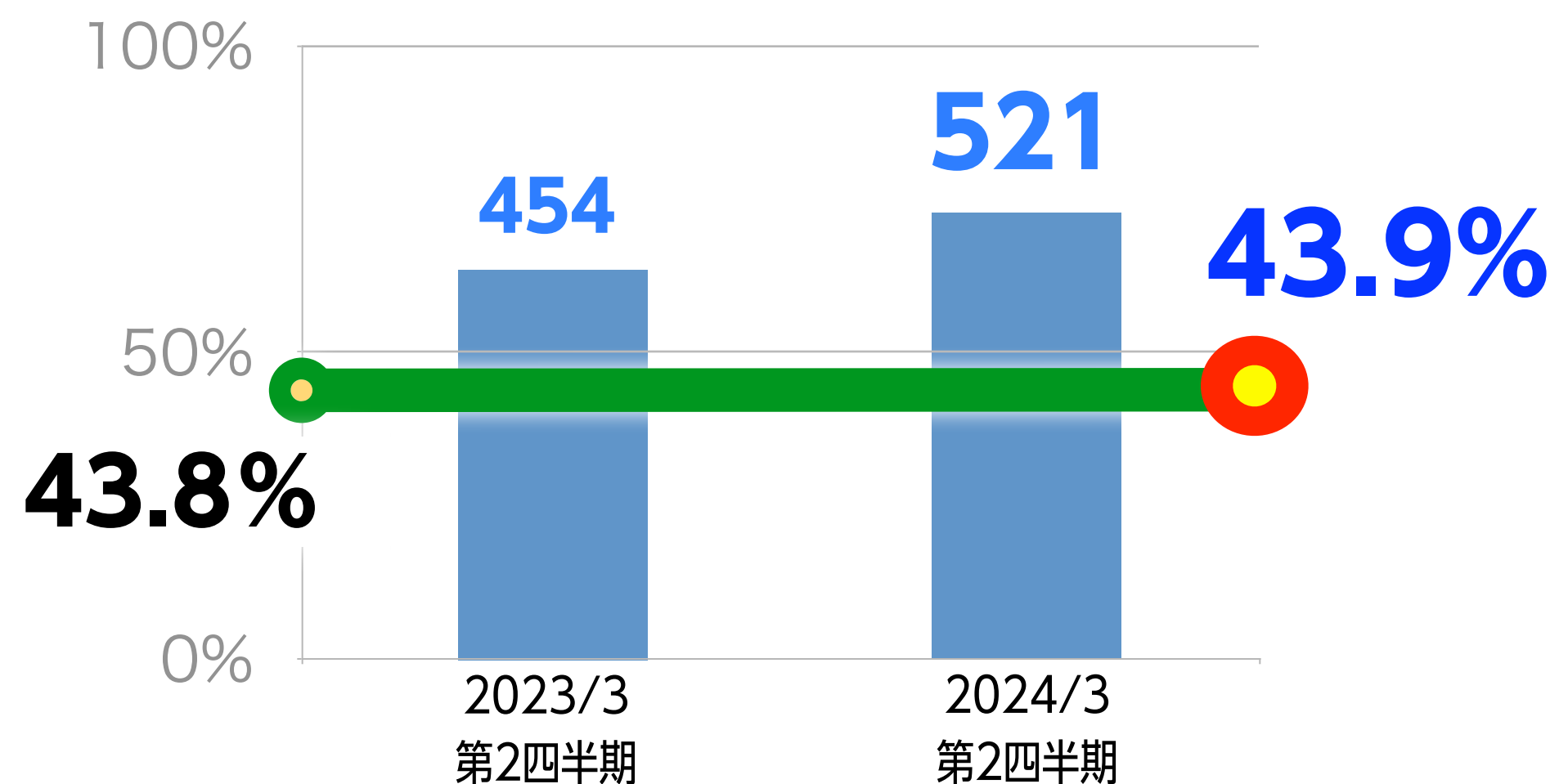


営業利益

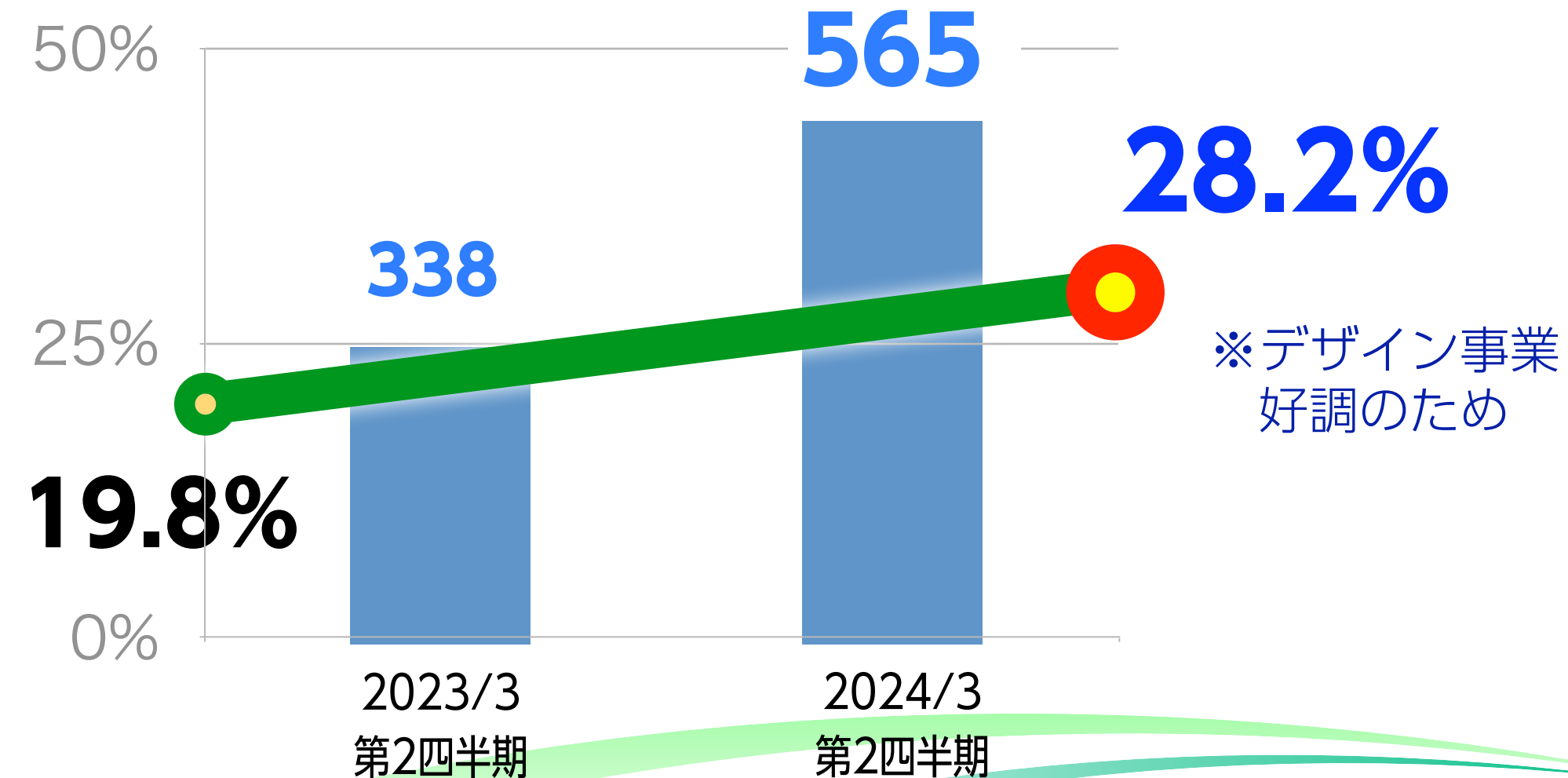
※いずれの期も投資損益を含む



継続型売上/率

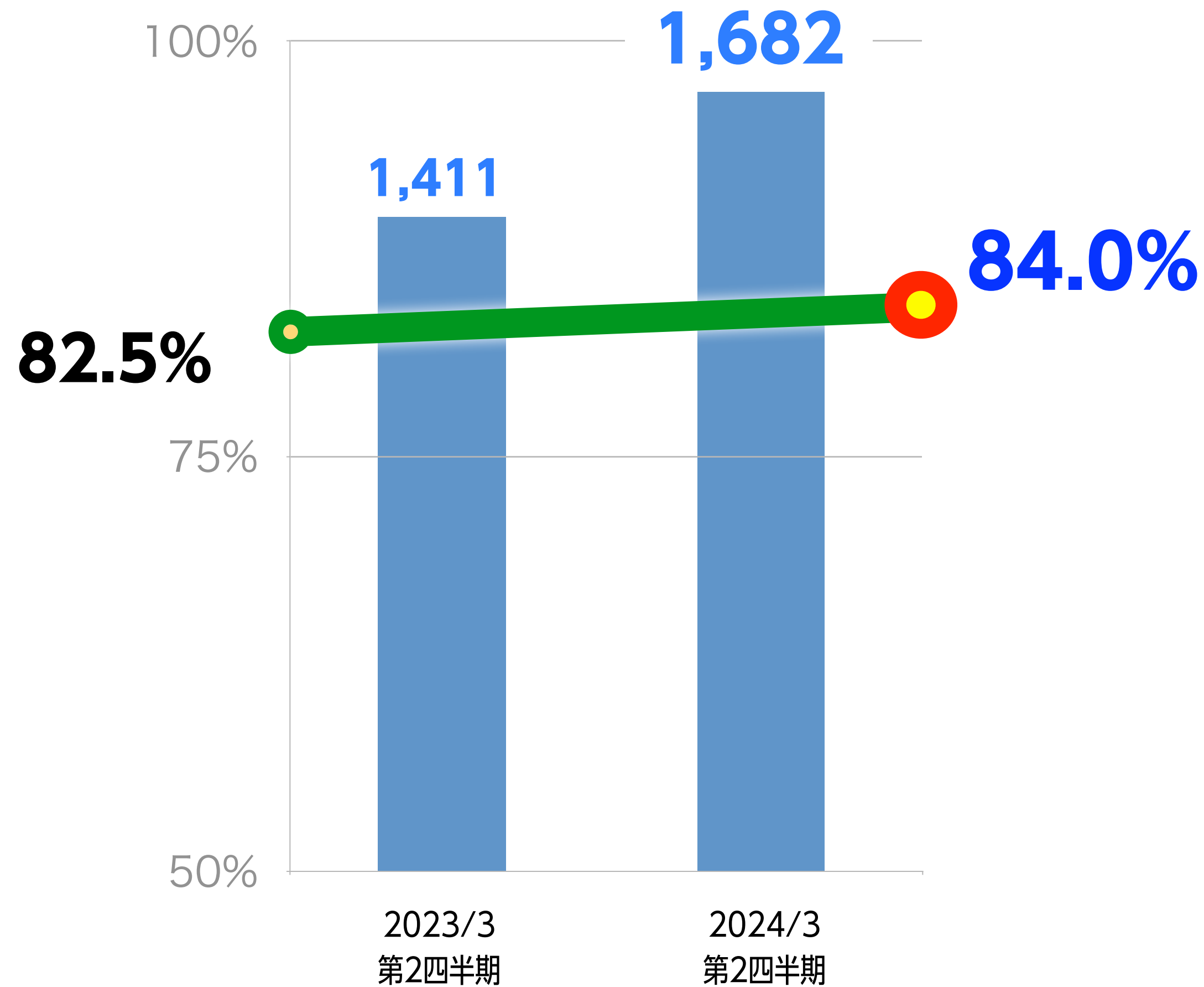


海外売上/率

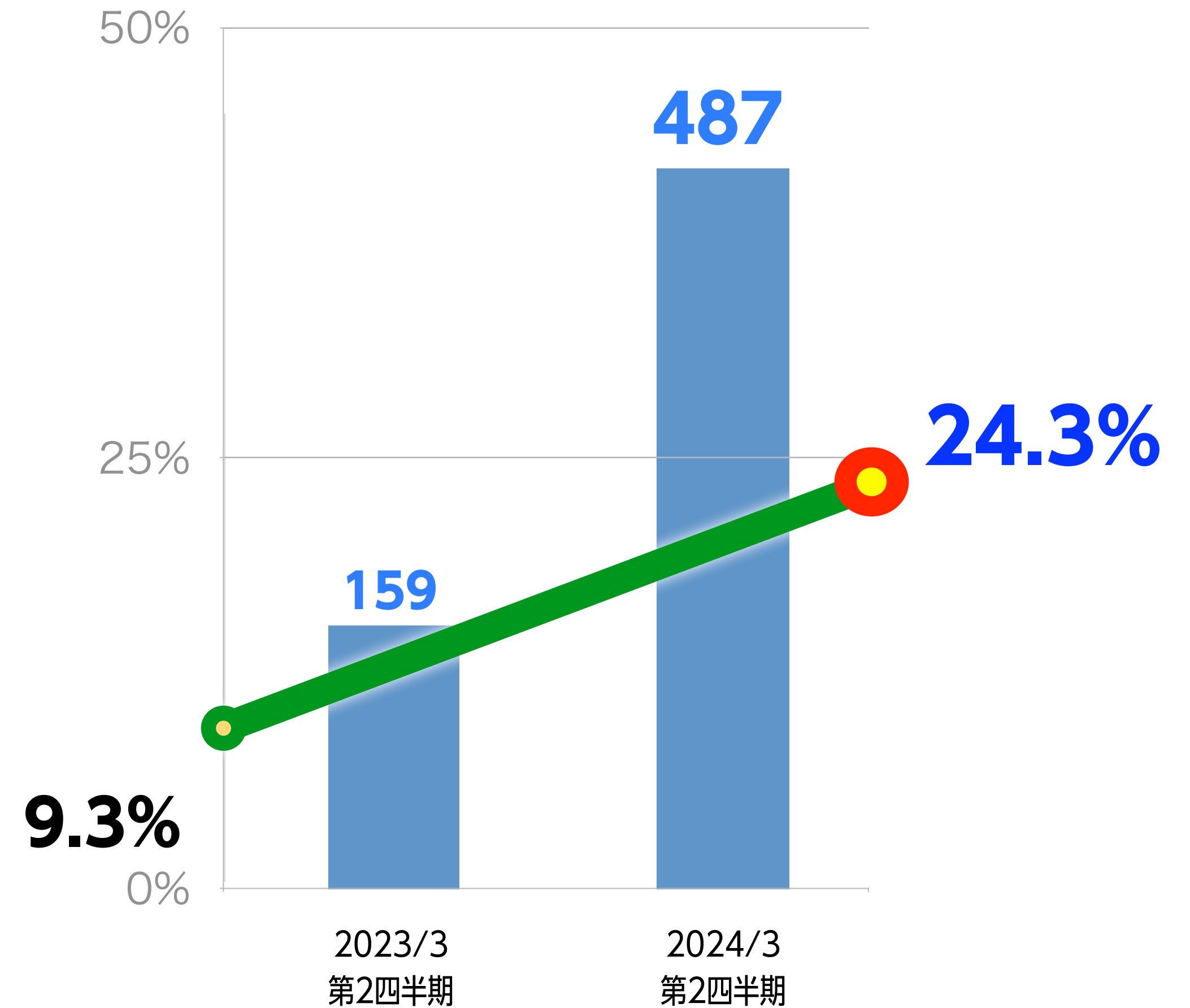


ソフトウェアセグメントの指標 (前年同期比) ※絶対値の単位は百万円

ソフトウェアセグメント 売上総利益/率



ソフトウェアセグメント 営業利益/率



財政状態計算書

(単位：百万円)

	2023年 3月31日	2023年 9月30日	増減
資産の部	現預金等	1,744	1,501 ▲ 243
	営業債権	183	535 353
	その他流動資産	506	556 50
	有形固定資産	813	879 66
	のれん	0	0 0
	無形資産	151	215 64
	投資等その他	7,222	4,118 ▲ 3,104
	資産合計	10,618	7,803 ▲ 2,815
負債の部	借入金	243	243 0
	営業債務	282	134 ▲ 148
	未払法人所得税等	75	212 137
	その他流動負債	825	997 172
	長期借入金	357	286 ▲ 71
	その他非流動負債	1,207	334 ▲ 874
負債合計	2,989	2,206 ▲ 784	
資本の部	株主資本	6,441	4,400 ▲ 2,041
	その他資本の構成要素	693	1,015 323
	非支配持分	495	182 ▲ 313
	資本合計	7,629	5,598 ▲ 2,031

✓ 健全な財務状況とキャッシュ・フローを継続

現預金等	自己資本比率
1,501 百万円	72%

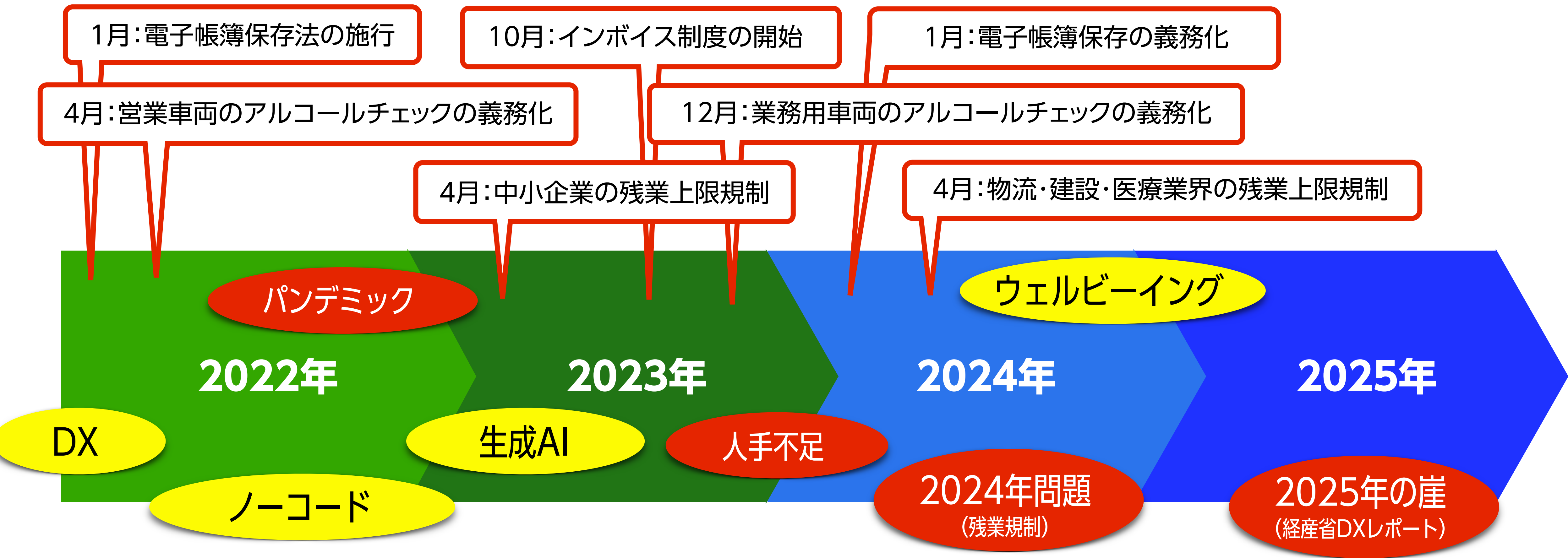
キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)	2024年3月期 第2四半期	前年同期比較
営業活動による キャッシュ・フロー	30	▲174
投資活動による キャッシュ・フロー	▲165	▲130
財務活動による キャッシュ・フロー	▲174	▲1
現金及び現金同等物の 期末残高	1,501	▲273

成長戦略

ソフトウェア

時代の変化を踏まえた法改正などにより、企業のDXニーズが今後も高まる



当社ノーコード製品の需要が拡大



中小企業を取り巻く環境

※出典:2023年版中小企業白書

- ◆法改正や人手不足解消に向けた**デジタル化&業務効率化が急務**
- ◆中小企業のデジタル化の取組状況は**2019年の17%**から**2022年には34%****2025年には58%**と、より一層の上昇

SMB市場のニーズに応えるアステリア製品



✓ 既存のシステムとクラウドなどのデータ連携を**ノーコード**で安価・短期間に実現



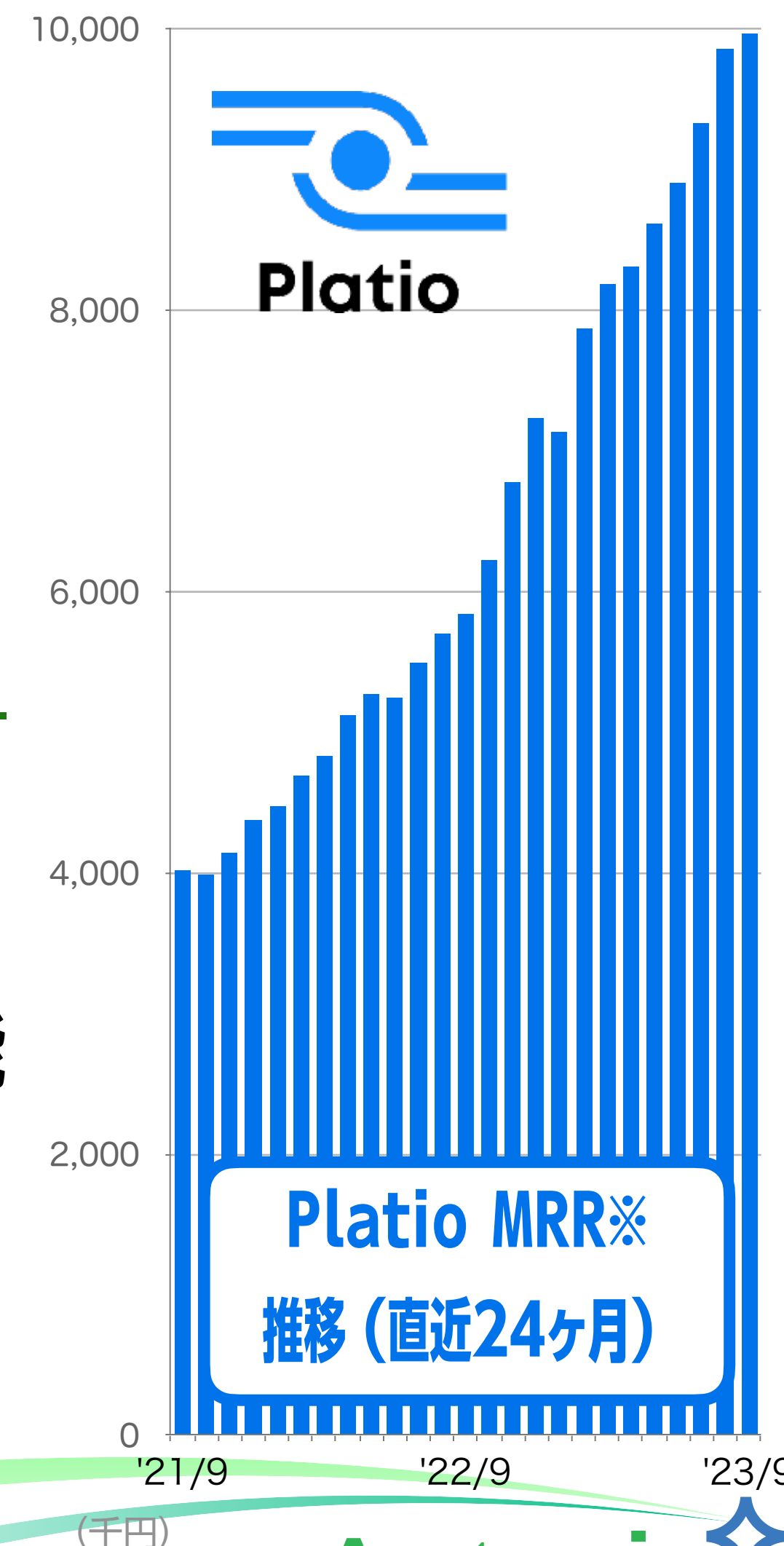
✓ 業務アプリをプログラミング知識のない現場社員でも**ノーコード**で作成・更新可能



✓ 多要素化・多拠点化するあらゆるデータの収集と管理を**ノーコード**で完結



✓ **無料から使える**多様なコンテンツの登録・閲覧・共有や並び替えができるアプリ





2024年3月期 第2四半期決算説明会

お問い合わせ:03-5718-1655



LINEによるIRニュース

本説明会及び説明資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等により、これらの見通しと異なる場合がありますことをご承知おきください。

(証券コード：3853)